

## 健康しらおい 21（第二次）計画 中間評価報告書

本計画では、計画期間を平成 26 年度から平成 34 年度までの 9 年間としています。計画の策定から 4 年目となる平成 29 年度に「地域保健報告・健康増進事業報告」及び「国保特定健診法定報告」等による関係資料を用い、11 分野 43 項目の指標に関し、計画の策定時（平成 26 年 3 月）及び中間評価時（平成 29 年 3 月）等の値を比較し、指標の達成状況の評価・分析を行いました。

その結果、11 分野 43 項目の指標については、「目標値に達した」は 53.5%（23 項目）、「改善傾向」は 11.6%（5 項目）、「悪化傾向」は 34.9%（15 項目）となっています。

「目標値に達した」項目について、その主なものは「国保特定保健指導の終了率」、「メタボの該当者・予備軍の減少」「糖尿病」等であり、「改善傾向」の項目についての主なものは、「国保特定健診の実施率」、「脂質異常症の減少（女性）」、「3 歳児でう蝕が無い者」などとなっています。

「悪化傾向」の項目について、その主なものは、「がん検診の受診率の向上」、「運動習慣者の割合の増加」、「喫煙」などとなっています。

平成 34 年度の最終評価に向けて、健康を取り巻く社会環境や町民の健康状態の変化、目標値の状況を把握したその結果を踏まえ、課題・今後の方向性・分野別の取組について整理しました（表 2）。

「75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）」、「脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）」については、現段階では市町村別の統計が出ていないため、これらの評価困難項目を「がんの死亡率（人口 10 万人当たり）」、「脳血管疾患・心疾患（高血圧性を除く）の死亡率（人口 10 万人当たり）」へ見直すこととしました。

健康しらおい 21（第二次）計画の分野全体の指標達成状況

策定時の値と現状値を比較	指 標 数	割 合 (%)
目標値に達した	23	53.5
改善傾向	5	11.6
悪化傾向	15	34.9
計	43	100.0

(再掲) 国保関連項目 21 48.8

※P2 表 1 のがん検診の受診率について

受診率の算定対象年齢は、40 歳以上（子宮頸がん検診は 20 歳以上）として計算している。

表1 白老町の目標の設定

(ゴシック太文字は変更項目)

分野	項目	基準値 (平成25年度計画策定時の値)	目標値	現状値 (平成29年度)	目標達成◎ 改善傾向○ 変化なし△ 悪化傾向■ 評価困難×	データソース
生活習慣病の予防	①がんの死亡率の減少(10万人当たり)	419.9	減少	490.8	■	北海道保健統計年報第40表
	②がん検診の受診率の向上					
	胃がん	男性 12.5% 女性 10.6%	16%	男性 10.6% 女性 11.9%	■ ○	地域保健報告・健康増進事業報告
	肺がん	男性 17.7% 女性 16.6%	20%	男性 16.0% 女性 20.9%	■ ◎	
	大腸がん	男性 16.1% 女性 13.4%	20%	男性 12.9% 女性 17.2%	■ ○	
	子宮頸がん	12.0%	20%	5.4%	■	
	乳がん	12.8%	20%	8.4%	■	
	①特定健康診査の実施率	29.4%	60.0%	33.8%	○	国保特定健診法定報告
	①特定保健指導の終了率	54.1%	70.0%	76.3%	◎	
	②メボ <sup>®</sup> の該当者・予備軍の減少	該当者18.2% 予備軍11.8%	現状維持又は減少	該当者 17.7% 予備軍 10.3%	◎ ◎	
③高血圧の改善(中等症高血圧以上(160/100mm/Hg以上)の者の割合の減少)	6.7%	高齢者の増加に伴い、現状維持	4.0%	◎	国保特定健診受診者結果	
④脂質異常症の減少(LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	男性 12.3% 女性 13.7%	男性 11.0% 女性 11.4%	男性 9.4% 女性 13.6%	◎ ○		
⑤脳血管疾患・心疾患(高血圧性を除く)の死亡率の減少(10万人当たり)					北海道保健統計年報第40表	
・脳血管疾患	171.1	減少	156.2	◎		
・心疾患(高血圧性を除く)	269.6		384.8	■		
糖尿病	①合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	14人	現状維持又は減少	13人	◎	町身体障害者手帳交付状況及び国保レタ
	②治療継続者の割合の増加(HbA1cがNGSP値6.5%以上の者のうち治療中と回答した者の割合)	51.9%	65.0%	68.5%	◎	
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがNGSP値8.4%以上の者の割合の減少)	0.6%	◎現状維持	0.7%	◎	国保特定健診受診者結果
	④糖尿病有病者の増加の抑制(HbA1cNGSP値6.5%以上の者の割合)	7.5%	現状維持又は減少	7.5%	◎	
生活習慣・社会環境の改善	①乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加					母子保健報告システム事業 白老町学校保健会「げんき」
	・3歳児でう蝕が無い者の割合の増加	83.7%	◎85%以上	84.9%	○	
	・12歳児の一人平均う蝕数の減少	1.1歯	1.0歯未満	0.93歯	◎	
	②歯周病を有する者の割合の減少					KDB(国保データベース)
	・年齢別歯科受診状況(歯肉炎及び歯周疾患件数)	3,901件	減少傾向へ	4,983件	■	
	①適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの減少)					母子保健報告システム事業
	若年層女性のやせの者の割合の減少(妊娠届出時のやせの者の割合)	19.7%	現状維持又は減少	13.1%	◎	
	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	6.1%	◎減少傾向へ	3.3%	◎	
	肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	男子 15.3% 女子 13.4%	減少傾向へ	男子 5.3% 女子 11.4%	◎ ◎	
	40~64歳の肥満者の割合の減少(町(国:20~60歳代男性、40~60歳代女性))	25.9% 11.1%	◎減少傾向へ	男性 10.1% 女性 6.4%	◎ ◎	国保特定健診受診者結果
①運動習慣者の割合の増加	男性 56.1% 女性 46.1%	現状維持又は増加	男性 44.3% 女性 39.7%	■ ■	国保特定健診問診票	
①妊娠中の飲酒をなくす	10.9%	減少	0%	◎	母子保健報告システム事業	
②生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低減(一日当たりの純アルコールの摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)	男性 13.8% 女性 10.6%	現状維持又は減少	男性 14.6% 女性 10.9%	■ ◎	国保特定健診問診票	
①妊婦の喫煙をなくす	13%	減少	32.8%	■	母子保健報告システム事業	
②成人の喫煙者の減少	男性 23.6% 女性 8.2%	減少	男性 28.9% 女性 9.8%	■ ■	国保特定健診問診票	
高齢	①介護保険サービス利用者の増加の抑制	948人	1,370人	1,144人	◎	介護保険事業報告
	②低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	11.6%	現状維持又は減少	9.5%	◎	国保特定健診受診者結果
心	自殺者の減少(人口10万人当たりの死亡率)	24.1 36.3	H28年までに自殺死亡率をH17年度と比べて20%以上減少させる(自殺総合対策大綱より)	24.1 38.1	■	北海道保健統計年報第40表
休養	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	20.6%	減少	17.8%	◎	国保特定健診問診票

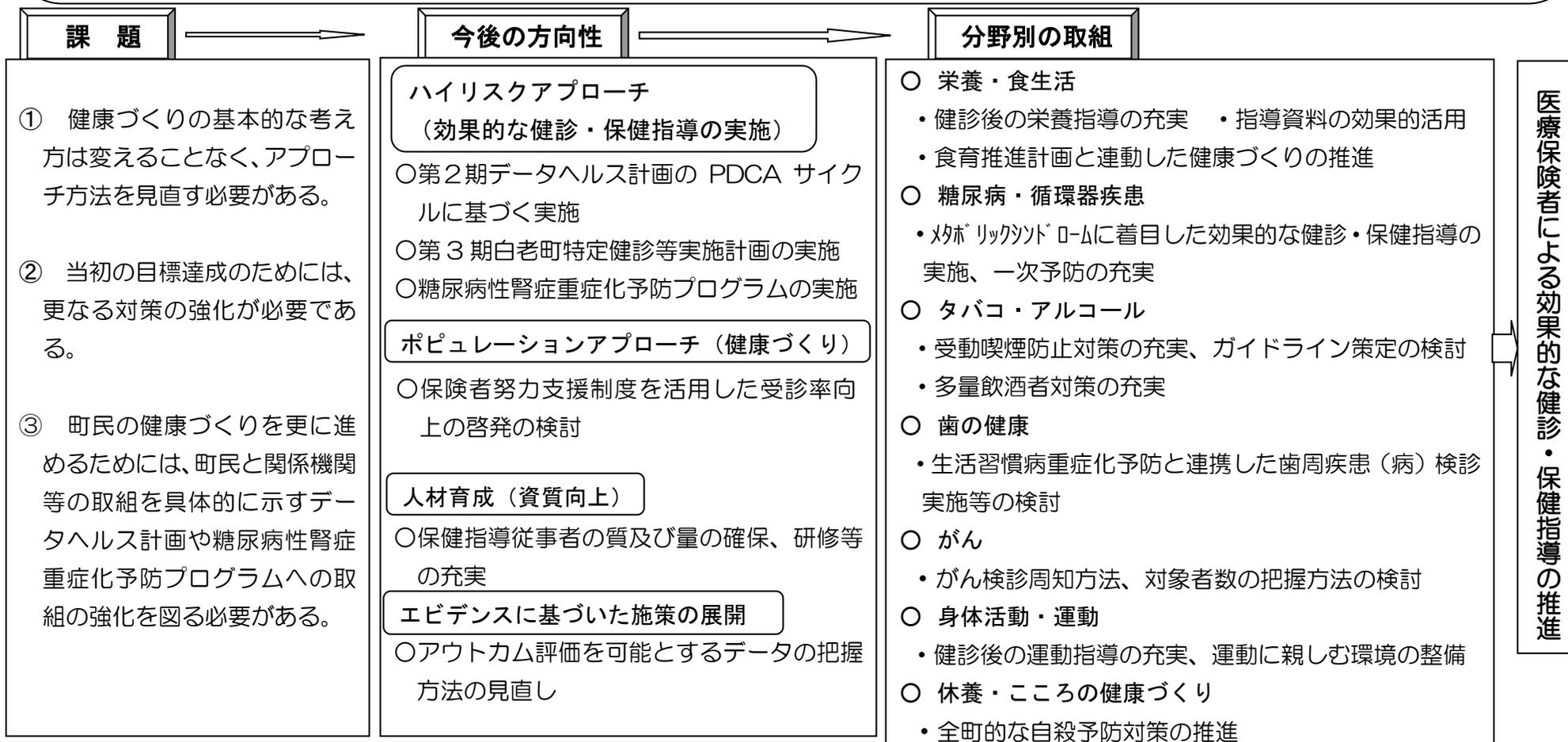
表 2

全般的な中間評価

健康しらおい21（第二次）計画 最終評価へ向けて

健康づくり施策をとりまく4年間の社会情勢は変化し、国保データヘルス計画や糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定され、受動喫煙防止対策に関する健康増進法改正への動き、自殺総合対策大綱の閣議決定等がありました。また、町民のみなさんの健康状況や生活習慣も4年前と比べ変化してきています（P2参照）。

これらを踏まえて、当初の目標達成度について中間評価を行いました。中間実績値からは、例えば、適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの減少）の改善傾向がみられるものの、がん検診受診率は向上していないことがわかりました。また、運動習慣がある者の割合や喫煙率のように、計画策定時のベースライン値より悪化している項目がみられるなど、全体の進捗状況としては必ずしも十分ではない点があり、新たな課題と今後の取組の方向性を明確にし、計画を推進していくこととしました。



医療保険者による効果的な健診・保健指導の推進